

## 第3学年 保健体育学習指導案

日時：平成28年7月7日（木）6校時

場所：体育館（授業会場）

学級：3年C・D組 男子（C組17名D組19名 計36名）

授業者：村松 昂

### 1 単元名 球技「バレーボール」

#### 2 単元について

##### (1) 教材観

バレーボールは、ネットを挟んで相手と味方がはっきりと区別されていることによって、お互いが接触することなくプレイし自分たちの動きを進めることができるスポーツである。また、レシーブ、トスやスパイクで仲間と連携しながら、相手コートにボールを返すことにも楽しさを味わうことができる。

バレーボールを学校教育の中で取り扱う価値として次のようなことが挙げられる。

- ① どこでも誰でも手軽に楽しむことができ、競技としてのおもしろさがある。
- ② 全身的運動であり、安全性が高い。
- ③ 集団としてのプレイが中心となり、集団と個人の相互依存関係を深めることができる。
- ④ 学習の効果がよくわかり、学習者の能力に応じて学習活動に組みやすい。
- ⑤ 生涯スポーツとして競技に親しむことができる。

以上のことから本校の目指す生徒像にもあるように、「思いやりのある言動をする生徒」「健康で規則正しい生活を送る生徒」を達成できることが期待されるものである。

##### (2) 生徒観

体育の授業が好きで、意欲的に活動する生徒が多く、生徒同士の関わりも概ね良好である。みんなで楽しもうとする雰囲気があるので、一つの物事にみんなで取り組むことができている。C・D組にはバレー部員が3人所属しており、生徒たちはパスやスパイクの仕方など、手本となる動きを視覚で捉えることができることにより、良いイメージを持って練習に取り組んでいる。その一方、運動を苦手としている生徒や言葉だけの指示では理解できない支援の必要な生徒もいる。しかし、運動が得意な生徒たちが苦手な生徒に優しく教える場面も数多く見られ、全員でうまくなろうとする姿勢が見られる。どの生徒にもわかりやすく授業を進めるために、ルールや役割を明確にし、より具体性を持った説明をすることが必要である。

##### (3) 指導観

本単元では、一球のボールをつなぐために、チームメイトがお互いにカバーし合う場面の多いバレーボールという競技の特性を生かし、チーム内での協力・分担、助け合いのプレイをすることでバレーボールの魅力を味わってほしい。

そのために単元前半では、パス、レシーブ、スパイクやブロックの個人技能を高め、ネットを挟んでのラリー（攻防）を続けることに重点を置いて指導したい。

単元後半では、仲間と連携したプレイ（作戦を含め）に重点を置き、運動技能に差はあっても、生徒個々がわからなかったことが「わかる」「できる」ようにさせたい。そして、お互いが「かかわる」ことで、バレーボールを媒介として、運動することの本来の楽しさ、おもしろさがわかる生徒に育てていきたい。

### 3 単元の目標と評価規準

#### (1) 単元の目標

勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できるようにする。

#### (2) 単元の評価規準

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>作戦などについての話合いに貢献しようとしている。</li> <li>互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</li> <li>仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための適切なかかわり方を見つけている。</li> <li>健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>球技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見つけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割に応じてレシーブやパスなどのボール操作ができる。</li> <li>相手コートの空いた場所をねらった攻撃ができる。</li> <li>様々なスパイクができる</li> <li>連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができる。</li> <li>ラリーの中で、味方の動きに合わせて、カバーできる。</li> <li>ネット付近でボールの侵入を防いだり、防いだりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>運動観察の方法について、理解したことを言ったり書きだしたりしている。</li> <li>試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

### 4 単元の指導計画

- (1) オリエンテーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 1, 2年の復習（パス、スパイク各種、ブロック）・・・・・・・・ 5時間
- (3) イニングバレー（攻撃重視、時間差、移動差、位置差）・・・・ 3時間（3/3本時）
- (4) 簡易ゲーム（攻防の楽しさを味わう）・・・・・・・・・・・・・・ 3時間
- (5) リーグ戦（まとめ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

### 5 本時の指導

#### (1) 目標と評価規準

目標	おおむね達成【観点】	未達成の場合の支援
自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を考えようとしている。	①これまでの作戦から自己のチームの特徴を踏まえ、有効なものを選んでいる。【思考・判断】 ②自分たちの作戦の成果と課題を根拠をもって書いている。【思考・判断】	これまでの学習を振り返らせ、既習の作戦を想起させる。

#### (2) 指導の構想

別紙 授業構想シート参照

(3) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	教師の指導・支援 ○評価【観点】 ●UDの視点
導入 (15分)  10分  5分	(2分前学習)  1 準備運動  2 課題設定	(・ネットの準備をする。)  ・ドリル学習 ①体力づくり ②ボール感覚作り	(・安全を確認する。)  ・単元を通してのドリル学習に取り組みさせる。 ●スパイラル化  ・本時の流れを確認し、生徒が動きやすいように示す。  ・課題とゴールを提示し、今日やるべきことを明確にする。
チームの特徴を生かした、ハイレベルな作戦を考えよう。			
展開 (28分)  3分  8分  17分	3 作戦会議  4 チーム練習  5 3チームのリーグ戦	・作戦を選ぶか、新たなものを考える。 ・作戦会議で作戦を成功させるための合図や動き方の確認をする。  ・2分×3ローテーション ・自分たちの戦術を磨きあげる。  ・リーグ戦で試合を行う。(5分) ・空いているチームは審判を行う。	・チームごとにミニ作戦ボード配布し、考えさせる。 ●共有化 ・自分のチームの特徴と作戦を合わせるようにアドバイスする。 ①作戦を選んでいる【思考・判断】 ・ポジションや攻撃タイミングのアドバイスをする。 ・3か所でローテーションをさせる。 ・全チームにアドバイスをする。 ・ブロックがある中での攻防ができるようにアドバイスする。 ・作戦ボードで見ながらゲームする。  ●視覚化
試合のルール ・サーブなし(攻撃側のセッターからのパスで開始) ・ブロックあり ・3球以内で返す ・3回で攻守交代 ・1st ボールをレシーブし、2nd ボールをキャッチできたら得点無効 ・ブロックアウトは有効 ・セッターはキャッチあり(1秒ルール)			
終末 (7分)	6 振り返り  7 全体で共有  8 まとめ	・チームごとに話し合いをし、学習シートにそって成果と課題をまとめる。  ・代表2～3チームの成果と課題を発表する。	・根拠を明確にさせる ②思考・判断 ・チームごとに作戦の成果と課題を話し合わせる。 ●共有化 ・他のチームの振り返りを聞き、自分のチームに生かす ●共有化
振り返り (移動差や位置差をミックスさせることで、相手を揺さぶらせることができる)			
	9 整理体操、次時の確認	・次時の見通しを持たせる。	

(4) 板書計画

チームの特徴を生かした、ハイレベルな作戦を考えよう。

時間差の例の図

移動差の例の図

授業の約束

- ①声を出して盛り上がる
- ②個人プレイ禁止
- ③審判の指示に従う
- ④全員バレー

～ハイブリッドバレーを超えるために～

ステップ1

自分たちの作戦を確認、見直し

ステップ2

攻撃のタイミングをつかむチーム練習

ステップ3

☆試合実践（臨機応変に対応し、作戦を成功させよう）

ステップ4

試合を振り返って、次へつなげる

流れ

- ①W-u p
- ②課題確認
- ③話し合い
- ④チーム練習
- ⑤試合（各チーム2試合）
- ⑥振り返り
- ⑦まとめ

振り返りをもとにまとめ

チーム練習の会場図

